



情報関連の授業公開キャラバン

＝大阪私学教育情報化研究会プロジェクト＝

発表者：羽衣学園高等学校 米田謙三

2007年8月24日



2001.9 ~ 第1 ステージ

フェイス to フェイス で
何でも言える関係作りからスタート!

第1ステージ 「フェイス to フェイス」で何でも言える関係づくり

▶情報A「イギリス留学の報告書作成」



四條畷学園高校・飯田英佳先生(数学・情報)

[詳細を見る](#)

▶情報A「フリーソフトを利用したマルチメディア学習」



大阪薫英女学院高校・津田郁夫先生(理科・情報)

[詳細を見る](#)

▶情報処理Ⅱ「落下運動のシミュレーション」



飛翔館高校・川崎初治先生(理科・情報)

[詳細を見る](#)

▶英語選択「インターネットを活用した個別学習」



ブール学院高校・Robert Jolly先生(英語)※発表は同ブール学院の小池先生

[詳細を見る](#)

▶講演会&シンポジウム



黒上晴夫先生(金沢大学教育学部助教授)・今田晃一先生(大阪府教育センター指導主事)・鹿島三和子先生(聖母被昇天中学校・家庭科)

[詳細を見る](#)



第1回～講演会&シンポジウムまで、(財)コンピュータ教育開発センターによるEスクエアプロジェクト、平成13年度地域企画「インターネット教育利用のための地域活動支援」の支援を受けました。

2002.1～ 第2 ステージ

ネット上の意見交換をスタート！ 中学と高校の連携！
(バーチャルブレインストーミングボードの活用)

第2ステージ

「ネット上の意見交換」をとり入れた授業づくり 2002年1月～7月

▶技術・家庭「グループ研究～手作り弁当を作ろう！」



聖母被昇天中学校・鹿
島三和子先生(家庭
科)

[詳細を見る](#)

▶技術・家庭「考えるレポート発表会とネットでコラボレーションクイズ」



清教学園中学校・佐竹
学(技術家庭・情報)

[詳細を見る](#)

▶選択情報「表のつくり方をマスターしよう/自分史の作成」



大阪信愛女学院高等学校・皮田佳
美(物理) 高木美帆(生物)

[詳細を見る](#)

▶技術・家庭「食生活について考えよう」



清教学園中学校・佐竹
学(技術家庭・情報)

[詳細を見る](#)

▶集中講座情報
科「ネットdeディベート/メディアで変わる？コミュニケーション」



清教学園高等学校・小
林直行(情報)中学校・
佐竹 学(技術家庭・情
報) 信愛女学院メディ
アセンタ長尾 尚

[詳細を見る](#)

2004.1～ 第3 ステージ

教科「情報」と「総合的な学習の時間」のあり方！

第19回	第20回	第21回	第22回	第23回
2003年7月4日	2003年10月17日	2003年10月24日	2003年10月29日	2003年11月14日
情報A「情報伝達の方法と工夫(座学)」	情報A「Web制作の第1歩」	情報A「コンピュータを用いたシミュレーションの練習」	総合的な学習「具体化したアイデアを発表しよう」	情報A「表現力をつけよう」
 <p>詳細を見る</p>	 <p>詳細を見る</p>	 <p>詳細を見る</p>	 <p>詳細を見る</p>	 <p>詳細を見る</p>
上宮高等学校 池田竜司先生(情報)	京都女子高等学校 成瀬浩健先生(情報)	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 糸川 潔先生(情報)	東海大学付属仰星高等学校 宇都口英樹先生(情報・理科)	大阪電気通信大学高等学校 多田 晃先生(情報・理科)
-	-	-	-	-

2005.1～

「学力の変化・向上」 と「教育の情報化！」

第29回	第30回	第31回	第32回	第33回
2004年12月3日	2005年1月28日	2005年5月31日	2005年5月31日	2005年6月3日
情報「Flashでアニメーション作成」	情報「メール」「プレゼンテーション」	英語「TV会議を使い海外と接続」	情報「weblogの使い方」	情報「CGデザイン基礎」
				
詳細を見る	詳細を見る	詳細を見る	詳細を見る	詳細を見る
精華高等学校 村上先生、村嶋先生(情報)	京都橘高等学校 長谷川先生(情報)	帝塚山学院泉ヶ丘高校 辻先生(英語)	羽衣学園高等学校 北川先生(大阪市大院) 米田先生(情報・英語)	精華高校 村上先生(情報) 於：産業技術短大
-	-	-	-	-

2006.1～

「ICT力の向上」 「特にCOMMUNICATION」

第44回	第45回	第46回	第47回	第48回
2006年7月14日	2006年8月21日	2006年10月2日	2006年11月9日	2006年11月24日
情報機器演習「園内に掲示できる教育的標語ポスター制作」	デザイン「IllustratorでCG入門」	情報A「タグでWebページ制作入門」	異文化学習「ドミニカ共和国からこんにちは」	情報A「プレゼンテーションソフトを用いた個人発表」
				
詳細を見る	詳細を見る	詳細を見る	詳細を見る	詳細を見る
大阪信愛女学院短大 長尾先生(情報機器演習)	岡山学芸館高校 大江先生(美術) 於: 産業技術短大	四條畷学園高校 飯田先生(情報)	村上先生(ドミニカ共和国 職業技術訓練庁) 於: プール学院高校	相愛高等学校 笹谷先生(情報)
-	-	-	-	-

2007.1～

「教科連携」
と「産学(外部)連携」

第49回	第50回	第51回	第52回	
2007年1月19日	2007年2月16日	2007年6月1日	2007年6月22日	
斜眼紙及びExcelによる立体描画実習	グループプレゼンテーションの発表	座学「著作権について」	総合的な学習の時間「コピーライターに挑戦」	
 詳細を見る	 詳細を見る			
産業技術短大 二井見先生(システムデザイン工学科)	羽衣学園高校 中川先生・米田先生	大阪国際滝井田高校 伊美先生	大阪国際大和田高校 齊尾先生	
-	-	製作中	製作中	

ネット上の意見交換！

- VirtualBrainstormingBoard(VBB)の活用
 - 公開授業前からネット参加
 - 公開授業当日の参観
 - 公開授業後のネット参加
 - 忙しい教員が参加できる必須条件？

ウェブによる毎回のお知らせ

第17回以降の公開授業の予定は、ただ今調整中です。

★第16回公開授業★ 盛!

▶ 日時: 2月19日(水) 5, 6限 13:25~15:15 授業

意見交換会 15:15~

▶ 会場: [四條畷学園高等学校](#)

▶ 授業者: 三村 忠之先生 (担当: 情報, 理科)

▶ 内容:

選択科目「コンピュータA」の授業で、3人のグループに分かれ、地元商店街のお店を訪問し、その店の紹介記事の作成を通して地元商店街との交流をはかり、授業で身に付けた技能で情報発信を体験します。
今回公開させていただく授業は、その作品の最終完成と発表の時間を予定しています。

▶ 指導案: [単元プラン](#) ・ [指導案](#) ともにPDFファイル

キャラバンVBBへの入口

◆「第16回の公開授業」についての[Virtual Brainstorming Boards](#) (VBB)です。
(ご意見をお待ちしています)

0 ANY	1 課題はどうか	2 授業時間は	3 グループ分け	4 評価	5 授業に参観した感想と意見を
<p>単元プランの中に「漠然としている目標から課題を見つけ出す」という一文がありますが、実は、その課題を見つけ出させる指導(?)といふかしかけ(?)というものが、なかなか難しいと感じています。津田先生の 支援といふか指導は、この辺りをどのようにされるのか楽しみです。</p>	<p>設定した10のテーマの適切さについてでしょうか？</p> <p>今までも「私たちは、盲導犬をテーマに選びました！」というように言って、その後、いきなり盲導犬の説明に入っていくケースがよくみられます。どうしてそのことに興味を持ったのか、他のテーマでまよいなかったのか？という辺りをいつも聞きたいとおもっていますね。</p>	<p>単元プランの時間配分のことですか？</p> <p>今、考えると最初の技術的な面での学習や、サンプル作成・提示などのプレゼンテーションのイメージ作りには無駄が多く適切でなかった、時間の浪費であったと感じるところがありました。(津田)</p>	<p>好きなもの？出席番号？教員が考えてグループを指名？どれがいいのでしょうか？</p> <p>私は、生徒の希望は、間かずにグループを作ります。その方が、結局、生徒に新しい友達関係を作ることになるような気がします。</p>	<p>グループとしての評価とそのメンバー個人の評価との切り分けが難しいでしょうか？</p> <p>生徒にグループ内で、自分の与えられた仕事が十分にできたかどうかを尋ねてみる必要もあるのでは？</p>	<p>津田先生、ご苦勞様でした。生徒たちが素直であることがよくわかりました。せっかくやられた今回のプレゼンをさらに高める時間を生徒に与えてあげて、もう1~2回発表させてあげると、きっと達成感のあるプレゼンができるようになると思いました。</p>
<p>テーマ選びがとにかく むずかしいですね。苦勞されたところは？</p>	<p>課題を生徒に選ぶときには、その「思い」を確かめてやるのが時々必要だと思います。それがうまくいく班の発表は、面白い！</p>	<p>プレゼンの時間配分は難しいですね？特に取り組まれたことは？</p>	<p>各自の取り組みも重視して、まあ、個人がさまならないようにしながらグループで発表するようにもっていきました。班のテーマは同じで最後に全員の作品を結合してまとめる方式でグループ発表しました。</p>	<p>発表した課題が、どれほどまでに自分の問題意識に関連しているかが問題ではないでしょうか？でもグループですからね。個人の差はどうすればよいのでしょうか？</p>	<p>授業参観と検討会、そしてこのボードの書き込み、初めての経験でしたが、予想以上の熱気に感動しています。今後、さらに面白い授業をと努力していきたいと、おもいます。ありがとうございます。(津田)</p>
<p>1年生で「情報」は既習とのこと、さすがにレベル高いですね。</p>	<p>1つでも完成まで行かなくてもまとめたものをプロジェクターで見せると刺激されるようです(津田)</p>	<p>関西大学のICTEのワークショップでやった、「1分間プレゼン」は、導入の方法として面白いし、効果的だと感じました。</p>	<p>これは苦勞しました。ほかの教科でもそうでしょうが、とりあえず機械的に座席の近い生徒をくっつけるようにしました。1グループ4人が限度でしょう。(津田)</p>	<p>団体優勝と個人優勝を 決める感じですか？</p>	<p>評価結果が早くフィードバックされると盛り上がりそうですね。</p>
<p>評価シートの項目は、検討の余地ありと見ましたが…。</p>	<p>生徒が自由に課題を作り出すぐらいの、高いレベルの興味・関心を抱くような物事があるとか、強い問題意識を色々な現象に対して持っているとか、だいたいですよ？！</p>	<p>多少サボる生徒がいても ゆっくり時間をかけてやる材料を探しています。質問がたくさん出るのもいいと思います。パラパラ漫画制作は参考になりました。(津田)</p>	<p>生徒の中でも、グループ活動を通して、お互いにそれぞれの得意、不得意を、なんとなく感じるはずですが、最初は機械的なグループ分けでも、後々はお互いのキャラを見極めて、自由にグループを組ませることも面白いかなと思います。「ある課題に対して、どのようなメンバーを組織してその解決にあたるのか」これそのものが情報の学習内容にも発展し、そう…</p>	<p>評価シート更新しました。当日、先生方に評価に参加して頂こうと思いますのでご協力をお願いします。(津田)</p>	<p>今でも悩んでいます。どうすればよいのか。なぜ、数値化しなければならぬのか。(津田)</p>
<p>自己評価用紙と相互評価用紙の内容(項目)は、やはり異なると思いますね。</p>	<p>「単元の目標」「教授方法」「評価の方法」「時案」「準備物」など、具体的にアイデアを出し合う活動があるといいですね。</p>	<p>1分間で自己(他者)紹介などをしますが、そういったテーマを与えられてから準備はたったの3分?とか、1分間に何をやらせるのか、という部分も、結構悩ましいかなと思います。</p>	<p>1分間プレゼンで何ですか(津田)</p>	<p>今回の授業で生徒に何を学び取って欲しいのでしょうか？それがはっきりすれば評価の観点もはっきりしますし、項目の並びを説明することもできるのでは？</p>	<p>授業を参観する前ですが、ボード上のやり取りをただで見て、かなり面白くなります。</p>
<p>テーマは生徒が興味を持ちそうでなおかつ内容の良いもの、ミーハーじゃないものを中心と思いますが今回ほどとりあえず、といふか間に合わず「安全」プロジェクトからかなり借りてきました。</p>	<p>生徒が意識を持っていない課題でもそれに取り組ませせることもありますよね？</p> <p>サッカーとかディズニーとかを極力避けるように指導します。(津田)</p>	<p>1分間で自己(他者)紹介などをしますが、そういったテーマを与えられてから準備はたったの3分?とか、1分間に何をやらせるのか、という部分も、結構悩ましいかなと思います。</p>	<p>うと、能力や性格まで似たものがかたまってしまったり…</p>	<p>要があると思います。</p>	<p>数値化しておけば、あとで評価をリーダーチャートにできるのでは？</p>
<p>時流に乗って、楽しくやろう。生徒も先生も。それが「情報」の授業の現在のありかた</p>	<p>安全プロジェクトから課題を一時的に借りるといふのは、</p>	<p>り物に乗るときに、たまたま見知らぬ人と隣席することがあります。面識がないのでは</p>	<p>うと、能力や性格まで似たものがかたまってしまったり…</p>	<p>要があると思います。</p>	<p>数値化しておけば、あとで評価をリーダーチャートにできるのでは？</p>

Virtual Brainstorming Board

「情報」関連 授業公開キャラバン

第5回公開授業 技術・家庭「グループ研究～手 作り弁当を作ろう！」

- 研究授業 [写真で見る](#)
- 意見交換会 [写真で見る](#)

平成14年1月17日(木) 第5・6限
聖母被昇天学院中学校 <http://www.assumption.ed.jp/>
3年選択生徒
授業者 鹿島三和子

● 研究授業 技術・家庭「グループ研究～手作り弁当を作ろう！」

[指導案](#) [写真で見る](#)

公開授業キャラバンはじめての中学校。教科は技術・家庭科の選択です。「手作り弁当を作ろう！」がテーマ。「どんなお弁当をつくるか?」「誰にたべてもらうものか?」といったコンセプトをグループごとに決め、冬休みの間に必要な条件(食材、調理器具など)、役割分担などを相談してきたそうです。



本時はいよいよ調理実習!「ちびっこ大好きだよ弁当」「火星ラブラブ愛妻弁当」など、アイデアあふれるお弁当作りの開始です。と、同時に、後でプレゼンテーションの時間が設定されています。生徒たちは調理しながら「写真とらなきゃ!」とデジカメで記録していきます。グループごとに作る料理はちがいますし、時間配分も大切です。

その一方で、パソコン室では、プレゼンテーション担当の生徒が、パワーポイントを使った作品の仕上げにかかっています。家庭科室とパソコン室は美術室をはさんですぐ隣。生徒たちはデジカメで撮った調理の様子をパソコン室にもって行ってどんどん、プレゼンテーションに取り込んでいきます。



制限時間ギリギリまでがんばったグループもありましたが、無事、試食会へ。グループごとにお弁当を並べ、見栄えを比べ、試食をします。見学の先生方も試食。調理中には「間に合うかな? だいじょうぶかな?」と不安だった先生方も、食べてみて納得。立派なお弁当でした。



参考：出前キャラバン

本当に知らない相手

異質な相手とつながり、
ぶつかりあい
つながりを認識するよさ！！

対面の必要性・本物の相手

人的ネットワークを広げるには！

- 対面のコミュニケーション

- (会議・研究会・講習会・懇親会)

- ネットワークでコミュニケーション

- (メール・電子掲示板・TV会議)

キャラバンの目的は？

- 教科「情報」の授業イメージの模索

- 現職教員が情報を担当

(つかむ・盗む・GOOD PRACTICE共有)

- 教員の情報化トレーニング

- 情報活用能力の育成

● もう少し補足？ ●

- 単に授業を見せ合うだけではない
- 教科「情報」に限らない

他教科でのIT活用

- 高校の「情報」のあり方と役目
- 教員間ネットワーク
- 指導法，課題のコラボレーション

身の回りの課題を発見して解決

生徒

教科「情報」の授業イメージを模索する

という差し迫った課題

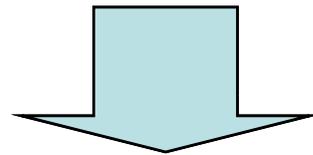
情報機器を使いながら、キャラバンを実施して
お互いに情報教育の概念の共有化

先生

情報活用能力の育成

まとめ

- 情報活用能力の向上がもたらす効果
良い授業を作り上げる(見せる授業)
ITの有効活用(投資してもらう納得)
他教科への「連鎖」(英語、高3履修)



生きる力・メディア創造力

教科 情報のこれから…

情報A: 情報(インターネット含む)活用
(モラル含む フリッジなど)

情報B: 数理的なことを実施
(メカニズムやロボットなど)

情報C: 調査・研究・発表を実施
(ICT・プレゼン・ディスカッション)



情報を記憶・保持することより

多くの情報から必要なものを選び

具体的な問題解決に役立てる能力

教員側

●**ネットワーク力**（国内・海外の教育関係者との）

●**情報機器を活用する能力**

（掲示板利用、TV会議利用など）

●**国語力・英語力**

具体的な問題解決に役立てる能力

学生側

●**コラボレーション力**（異質な集団で交流する力）

●**情報機器活用能力**

●**セルフコントロール力**

●**思考・精神力**（自発・自覚力）

●**好奇心力**

●**基本的な生活習慣力・基礎学力**

●**経験力**

具体的な問題解決に役立てる能力

生徒たちが身につけた力

● 情報編集力（収集・選択・加工）

● コンピュータ活用スキル（メール含む）

● コラボレーション力

● 基礎学力（英語力・国語力）

● 体力

● コメント力

● コミュニケーション力（表現力）

**教科、領域
をまたぐ
総合的な学力**